

海外事務所 主な活動報告（令和 7 年 4 月）

《ワシントン州事務所》

シアトル桜祭・日本文化祭において、当事務所はブースを出展し、兵庫県の観光と、ひょうごフィールドパビリオンの PR を実施した。

兵庫県から万博会場への距離や、万博に行く際には姫路城にも訪れたいなど、万博関連の質問や声が聞かれた。また、兵庫県内の地場産業組合の出展ブースでは、ひょうごフィールドパビリオンの体験場所である「そろばんビレッジ」に行ってみたいという声も聞かれた。

兵庫県内の地場産業組合等との連携によって、効果的に本県の魅力を PR することができた。今後とも引き続き様々な関係者と連携しながら、本県への観光誘客等に取り組んでいきたい。

＜シアトル桜祭・日本文化祭での観光PR＞

- 日 程：2025（R7）年 4 月 11 日（金）～13 日（日）
- 場 所：シアトル・センター
- 参加者：約 22,000 人
（うち、兵庫県ブース来場者約 700 人）



兵庫県ブースの様子

《パリ事務所》

三木市と、兵庫県の友好交流先であるセヌ・エ・マルヌ県に位置するクロミエ市の交流は、当事務所も支援し、県立三木高校とクロミエ高校の相互訪問・交流から、次第に地場産品や観光など多分野に拡大してきた。

今回は、その交流の一環として、パリ首都圏で 2 番目に大きい農業見本市に、三木市とクロミエ高校が共同でブース出展した。

ブースでは地元商社及び仏代理店が折り畳み式ナイフ等の三木金物や日本酒を展示販売したところ、好評につき完売していた。また、フランソワ・バイルー仏首相が、三木市・クロミエ高校ブースに立ち寄った際には、当事務所から本県や三木市の日仏交流等について説明するなど、支援を行った。

＜クロミエ農業見本市＞

- 日 程：2025（R7）年 4 月 11 日（金）～14 日（月）
- 場 所：クロミエ市見本市特設会場（セヌ・エ・マルヌ県）
- 参加者：約 75,000 人



ブースを訪問された仏首相

《香港経済交流事務所》

今年で 13 回目となるマカオ最大の国際旅行博が開催された。当該旅行博は、マカオ政府が総合的な観光発展を推進するイベントとして注力しているものであり、今回は、はじめて国際見本市連盟（UFI）から公認国際イベントとしての認定を受け、過去最大規模で開催された。

ブースには、多くの来場者が訪れ、万博へ行くつもりだが、その後どこへ行こうか考えているという声が多く聞かれ、兵庫県が万博会場から近いということが分かると、熱心に質問してくる人が多かった。また、日本酒への関心も高く、灘五郷や播磨などの酒処を紹介すると、是非、酒蔵巡りをしてみたいという声があったほか、有馬温泉や城崎温泉など温泉への関心が非常に高く、万博会場からどのように行くのかなど、かなり具体的な質問も多かった。

マカオからの訪日客は、2023 年の 74 千人から、2024 年には 124 千人と約 1.6 倍に増加しており、2025 年も増加傾向が続いている。

今後とも現地拠点として、関係機関と連携しながら、本県への誘客に努めていく。

＜マカオ国際観光（産業）エキスポ（MITE）への出展＞

○日 程：2025（R7）年4月25日（金）～4月27日（日）

○場 所：ベネチアンマカオ・コタイエキスポ

○参 加 者：約 38 千人

（うち、兵庫県ブース来場者約 900 人）



兵庫県ブース